

# 本業を活かした取組み 経済・金融教育への取組み

## 大和証券グループの経済・金融教育への取組み

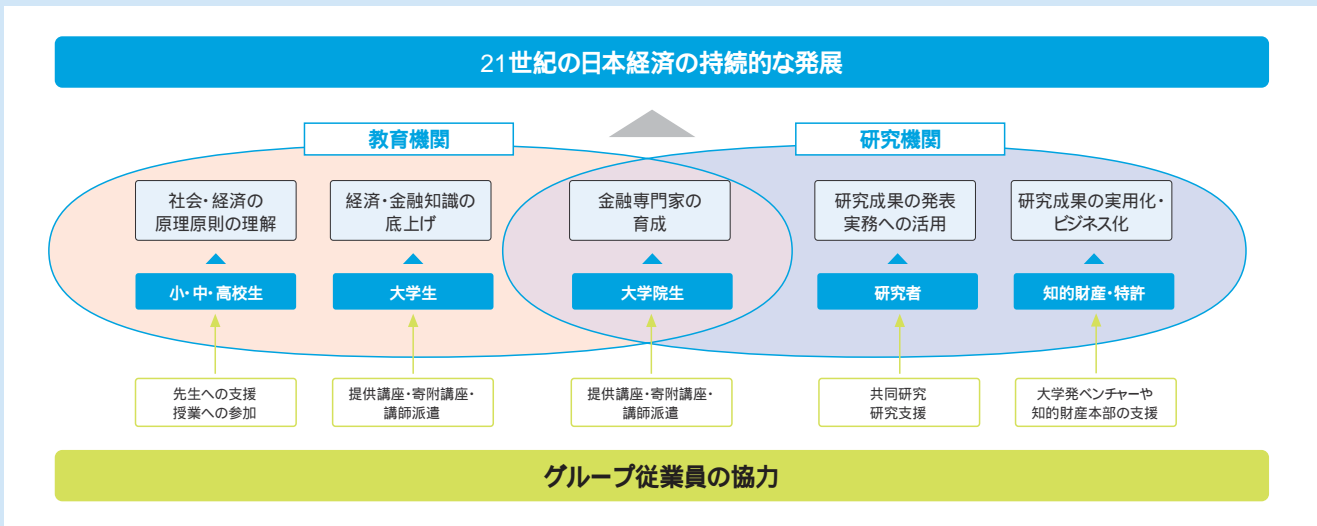
大和証券グループは、経済や金融についての教育・研究活動の重要性を認識し、2つの分野を中心に取組みをすすめています。

ひとつは、大学・大学院との産学連携による教育・研究分野への支援です。最先端の金融テクノロジーにかかわる研究支援や、当社グループ従業員が講師を務める金融ビジネス講座など、実

務に即したプログラムを提供しています。

もうひとつは、小・中・高校生向けの経済教育の普及活動や、教育現場で実施するプログラムの支援です。中学・高校時代から生きた経済・社会について学ぶことは、他人や社会との接し方や仕事をすることの意義などを学ぶことにつながります。

### 経済・金融教育の分野図



### 2005年度の主な産学連携

主な産学連携	大学名	主な講座・テーマ例
寄附講座、提供講座、講師派遣	京都大学大学院 経済学研究科	証券投資の手法と理論
	京都大学大学院 医学研究科	アントレプレナーシップ講座
	一橋大学大学院 国際企業戦略研究科	大和証券グループ企業戦略創造講座
	慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス 総合政策学部	コーポレートガバナンス論
	青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科	ポートフォリオマネジメント演習、機関投資家と資産運用
	早稲田大学大学院 ファイナンス研究科	債券インベストメント
	早稲田大学 オープン教育センター	ベンチャー起業家養成基礎講座
	東北福祉大学 総合福祉学部	福祉と経営
	中央大学 法学部	国際金融証券市場と法
	東洋大学 経営学部	新しい金融商品と証券市場の変貌
	神奈川大学 経済学部 国際経営学科	経営学特殊論
	追手門学院大学	ベンチャーと証券市場論
	琉球大学	証券市場
沖縄大学	証券市場論	
共同研究	京都大学大学院 経済学研究科	知的財産・無形資産価値評価モデルの構築
	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科	IR活動の効果と企業価値
	一橋大学大学院 国際企業戦略研究科	ストック・オプション公正価値の評価モデル開発
	早稲田大学 ファイナンス総合研究所	金融システム不安の解消過程と今後の資本市場の役割
研究成果等の事業化支援	早稲田大学 インキュベーション推進室	早稲田大学発ベンチャーの経営指導
	日本大学 産官学連携知財センター(NUBIC)	TLOコンサルティング、起業家支援
共同コンファレンス・講演会の開催、講演、支援	一橋大学大学院 国際企業戦略研究科	ポーター賞
	京都大学大学院 経済学研究科	2005 Daiwa International Workshop on Financial Engineering

社会が持続可能な発展をとげるために、本業において蓄積した技術や知識・ノウハウを社会に還元することが必要であると考え、大和証券グループは青少年への経済・金融教育の支援に力を注いでいます。

## 事例 寄附講座 早稲田大学 ベンチャー起業家養成基礎講座

早稲田大学で行なっている寄附講座「ベンチャー起業家養成基礎講座」では、実務に携わっている大和証券グループの従業員が非常勤講師として授業にかかわり、金融・証券市場の現場に即したノウハウを提供しています。

### 日本経済の活性化のため 大学発ベンチャー起業の育成を目指して

「ベンチャー起業家養成基礎講座」は、チャレンジ精神に富み起業を志す学生に、実際に起業家となるための基礎的な知識を教える講座。その前身となる「早稲田/大和TLO\*パイロットプロジェクト」を立ち上げたのは1997年のことでした。

講座は大学1年生から4年生までを対象にしています。経営理念やビジョンの重要性、財務会計、法務、知的財産の考え方など、基礎的な講義を基本に、成功した経営者、上場したばかりの若い経営者などを招き、学生に向けて経験談を話してもらおう機会も設けています。



大和総研 専務取締役 東英治による講義

こういった基礎知識をもとに、学生は実際のビジネスプランを作成。大和証券グループのベンチャーキャピタル部門であるエヌ・アイ・エフSMBCベンチャーズの従業員が、ベンチャーキャピタルに提出する資料のポイントなどを指導。実際に起業する際にかかるプロの目で評価、指導を行なう、実践に即した講義内容です。講座の成果は「ビジネスプラン・コンテスト」で発表。優勝者には早稲田大学インキュベーション施設の1室を1年間無償で利用できる特典があります。



大和総研 参与 鈴江栄二による講義

### 「普通の大学では体験できない 貴重な体験ができたことに感謝しています」

「財務のことから効果的なプレゼンテーションの方法まで、実際に必要なことを教えていただきました。また、随所でプロの目から見た鋭いアドバイスをさせていただいて、実際のプランに反映できました」と言うのは、2005年のコンテストで優勝した政治経済学部村山太一さん。「大和総研がインターンシップとして受け入れてくださったり、講座で起業家の生の話が聞けたり、とにかく貴重な体験でした」。

熱意とアイデアを持つ、優秀な学生の起業への夢を現実のものにすることは、日本経済の活性化にもつながっていきます。大和証券グループは若い才能と熱意を伸ばす活動をこれからも続けていきます。



「ビジネスプラン・コンテスト」優勝後、早稲田大学インキュベーション施設の1室で会社を立ち上げた村山太一さん(右)

\* TLO: Technology Licensing Organization(技術移転機関)  
大学の技術に関する研究成果を発掘・評価し、特許化や企業への技術移転を行なう法人

# 本業を活かした取組み 経済・金融教育への取組み

## 事例 中学生向け ファイナンス・パーク

大和証券グループでは、2005年6月より、東京都品川区で日本で初めて導入された生活設計体験学習「ファイナンス・パーク」に特別協賛しています。「ファイナンス・パーク」は青少年経済教育NPO「ジュニア・アチーブメント日本<sup>\*</sup>」の体験型経済教育プログラムで、品川区内の18校の中学生約1,500名が対象です。生徒がそれぞれ異なる属性を持つ市民となり、生活設計を考えながら、地域社会や経済の仕組みを学んでいます。生徒たちは「生活費の目安と実際の支出計画」「個人投資計画」などを策定して、協賛企業14社・団体が提供するブースを回ります。自ら考え、行動に移すことで、知識の蓄積にとどまらず、実際に使える力を育てていきます。大和証券グループが提供している「大和証券」のブースでは、資産運用の手段として、株式投資などを学びます。



大和証券のブース



開設式の様子

### ファイナンス・パークに参加した生徒の声

将来自分がどうやってお金を使っていくかが分かってよかったです。以前、私はあまりお金について考えたりしなかったけど、今日の体験を通してお金の大切さが分かりました。

限られた収入の中で生活することがいかに大変であるかを理解することができた。何より、ゲームをやっているような感覚で生活の大変さを、今実感をもって体験できたことは、将来とても役立つだろうと思う。

<sup>\*</sup> 「ジュニア・アチーブメント」は1919年に米国で発足し、企業経営や経済・金融に関する教育の普及と実践の活動を展開。現在、約4万社の企業による財政支援や、経営者を含む従業員の講師派遣などの人的支援を活用し、毎年450万人の青少年が学んでいます。「ジュニア・アチーブメント日本」は1995年に設立されました。

## 事例 高校生向け スチューデントカンパニー・プログラム(SCP)

「ジュニア・アチーブメント日本」が提供する「スチューデントカンパニー・プログラム(SCP)」は、高校生が授業のなかで会社を経営することにより、会社の仕組みや経済の動きを学びながら、自立的な判断力・意思決定力、結果に対する責任意識などを身に付ける実技体験型経済教育プログラムです。大和証券グループでは2003年度から、立命館高等学校が正課として導入しているSCPに協力。生徒が設立し経営する株式会社に社外取締役として従業員を派遣して実務的なアドバイスを行なっています。問題に直面し、悩んだ上で知恵を絞って解決する、という経験をして、生徒たちはめざましい成長をとげています。



授業の様子



学生による株式会社「笑」の製品  
キャンドルスタンド



## 事例 一般向け メディアを通じた証券基礎講座

大和証券メディアネットワークスでは、証券・経済に関する知識を多くの人に広めるために、「ダイワ・証券情報TV」および「ダイワインターネットTV」の運営をしています。

「ダイワ・証券情報TV」は、スカイパーフェクTV!等に視聴できる日本で唯一の証券情報専門チャンネルです。「証券ビギナーのための基礎講座」では、証券投資の初心者向けに証券や経済についてわかりやすく解説する番組を放送しています。2006年5月末の視聴世帯は、約41万世帯です。

「ダイワインターネットTV(<http://www.daiwatv.jp/>)」は、金融・証券分野では最大規模の映像配信サイトです。「投資を学ぶ」のコーナーでは、株式をはじめとする証券商品や投資の基礎知識を解説する「5分でわかる証券基礎講座」の動画を配信しています。2006年5月のサイトへの月間アクセス数は約89万件、映像視聴数は約42万件にのぼります。

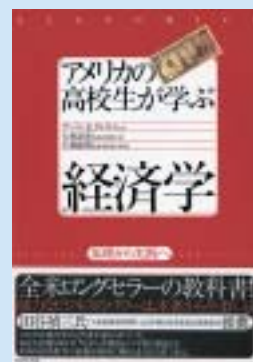


ダイワ・証券情報TV ▶ <http://daiwa766.jp/>

## 事例 高校生教科書『アメリカの高校生が学ぶ経済学』を出版

2005年9月、アメリカの高校生が使っている経済学の教科書を翻訳した『アメリカの高校生が学ぶ経済学』が出版されました。日常の生活に即した場面を例にとって、経済の仕組みをわかりやすく解説。需要と供給やマクロ経済にもふれ、社会人の学習用としても応用できる経済入門書です。経済の基礎を教えることの重要性を感じた大和証券グループ従業員が発案し、翻訳作業を行ないました。

この本を大和証券グループ本社のウェブサイトにて教育関係者を対象に抽選で500名に贈呈しました。



『アメリカの高校生が学ぶ経済学』

## 事例 小・中学生教科書『Financial Fitness for Life』日本語版制作サポート

大和証券グループは、アメリカの中学校で経済・金融教育の授業にもっとも広く使われている『Financial Fitness for Life』の「ジュニア・アチーブメント日本」による日本語版の制作をサポートしました。

このテキストは子どもたちの日常の意思決定や将来の職業選択に「経済の考え方」を活かせるようになることを目指すもので、米国で使用しているオリジナルのテキストを、日本の文化や習慣に合わせて書き直し、より理解しやすくなるよう努めました。



『Financial Fitness for Life』日本語版